

バージョンアップガイド



Version11.3x

【 も く じ 】

1. バージョンアップ作業の前に ～必ずお読み下さい～ …… 1
2. 作 業 手 順 …… 2
3. ef / Bitz / P's 新バージョンのインストール …… 3
4. コンバート作業（新バージョンへの変換） …… 6

1. バージョンアップ作業の前に ~必ずお読み下さい~



Version11.3x へのバージョンアップを行います、efを例に説明していますが、Bitz、P's も作業手順は共通です。バージョンアップによる注意点は、下記の通りです。必ずお読み下さい。

■バージョンは、・・ を Version11.3x に揃えて下さい。

見積物件、マスターをサーバーで管理し、共有でご利用の場合は、ご使用になっている全てのソフトを Version11.3x へバージョンアップしてください。

■必ず、ガイドに沿って操作して下さい。

■インストールやプログラムの削除作業を行うには、Administrator の権限が必要です。

インストールやプログラムの削除作業が行えない場合は、まずパソコン起動時のユーザーが Administrators グループに所属しているかをご確認下さい。

■インストール・アンインストール実行時のメッセージについて

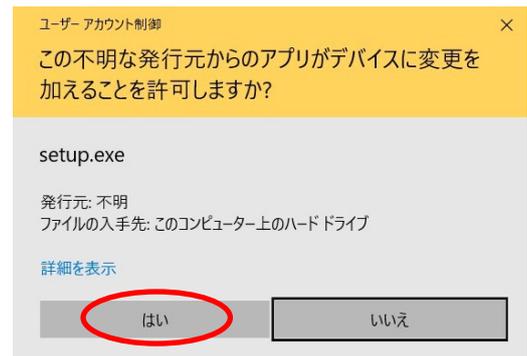
インストールやアンインストール実行時、
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



 右画面が表示されるので「はい」をクリックします。

環境によっては「キャンセル」「許可(A)」の
選択表示が出ます。

「許可(A)」をクリックしてください。



以上

2. 作業手順

① インストール前に ef / Bitz / P's の終了



② 新バージョン (Version11.3x) のインストール



コンバート作業 (P. 6)

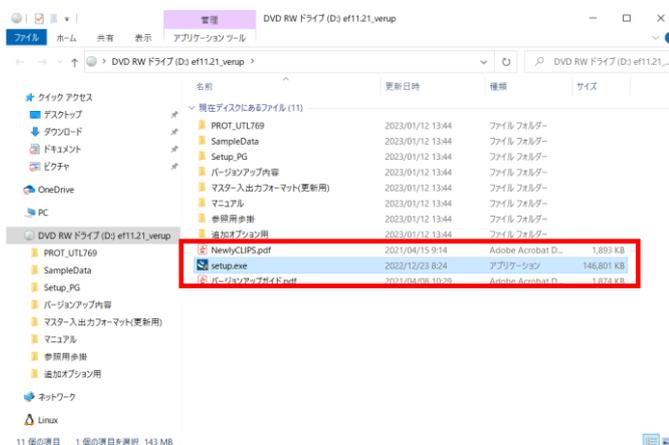
【注意】 物件・マスターを共有でご利用の場合は、
全ての ef / Bitz / P's のバージョンアップが終わってから実行して下さい。
旧バージョンでの ef / Bitz / P's では利用できなくなります。

準備するもの

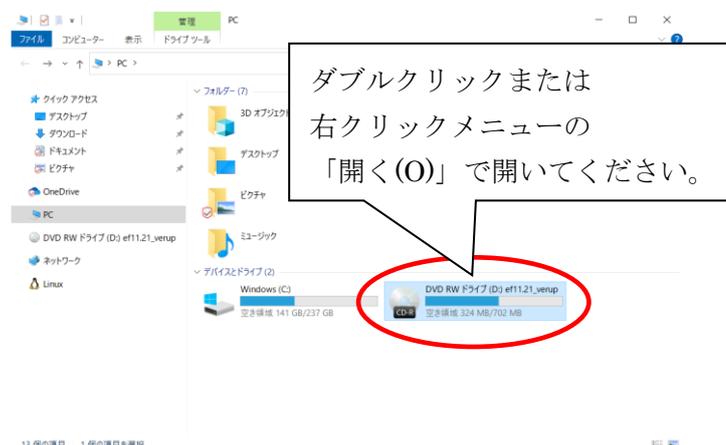
・ PLANEST ef (Bitz or P's) Version11.3x 製品インストーラー「setup.exe」ファイル

「setup.exe」ファイルは、インストール CD の中に入っております。

PC にインストール CD を挿入し、エクスプローラーで CD の内容を表示すると確認出来ます。



※自動で CD の内容が表示されない場合は手動で表示させてください。

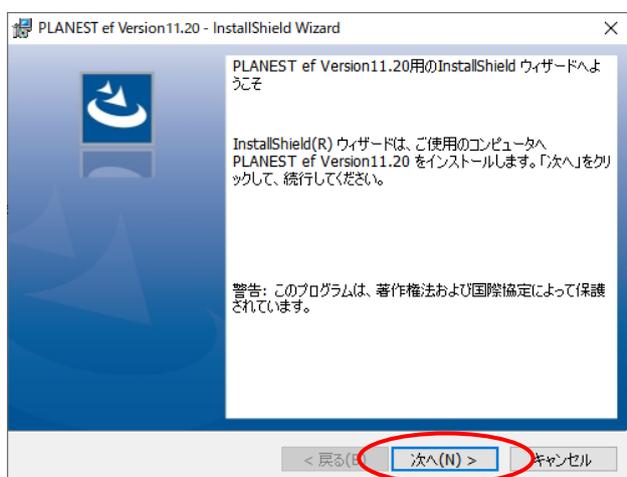


3. ef・Bitz・P's 新バージョンのインストール

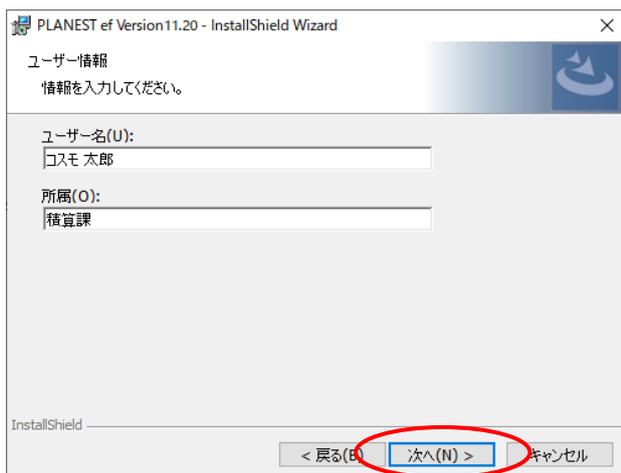
1. インストールの前に現在 ef を開いている場合は閉じます。
2. 「setup.exe」ファイルをダブルクリックします。



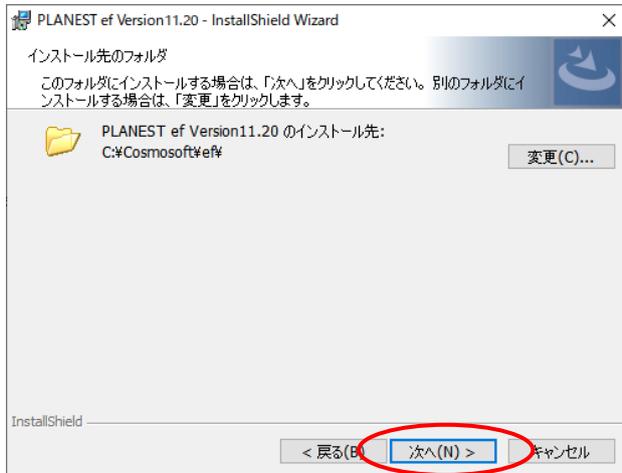
3. しばらくするとインストーラーが起動します。
「PLANEST ef Version11.3x 用のInstallShield ウィザードへようこそ」とメッセージが出ます。
内容を確認し、次へ(N) をクリックします。



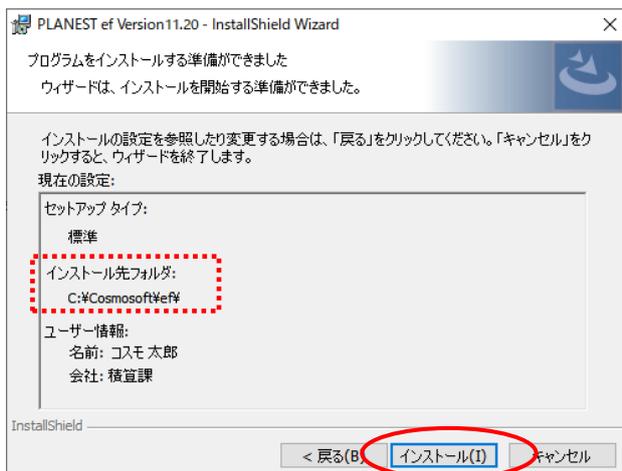
6. 「ユーザー情報 情報を入力して下さい。」とメッセージが出ます。
利用者情報を入力するか、不要であれば空欄のまま、次へ(N) をクリックします。



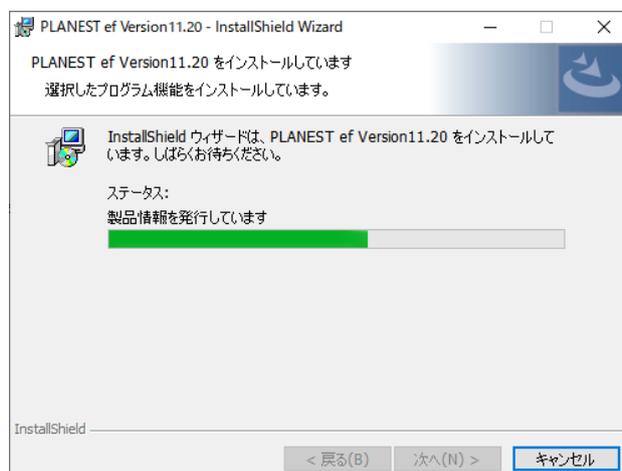
7. 「インストール先のフォルダ」とメッセージが出ます。
efをインストールするフォルダを指定し、 **次へ(N)** をクリックします。
※標準では、[C:¥Cosmosoft¥ef¥]です。
※フォルダを変更していた場合は、 **変更(C)** をクリックして、今までと同じ場所に変更して下さい。



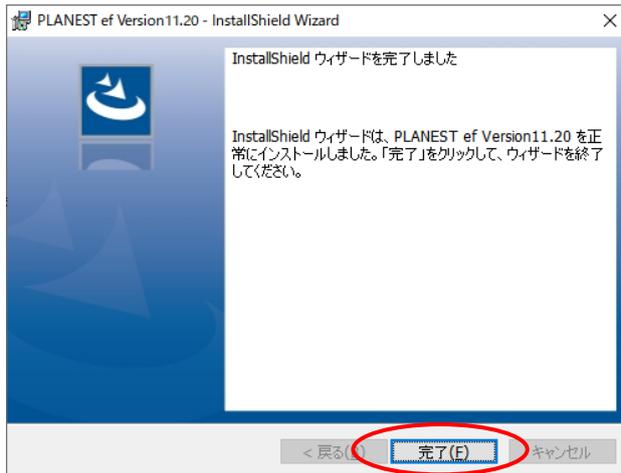
8. 「プログラムをインストールする準備ができました」とメッセージが出ます。
「インストール先フォルダ;C:¥Cosmosoft¥ef¥」を確認し、 **インストール(I)** をクリックします。
(※手順7.で変更した場合は、指定したフォルダになります。)



9. 「PLANEST ef Version11.3x をインストールしています」とメッセージが出ます。

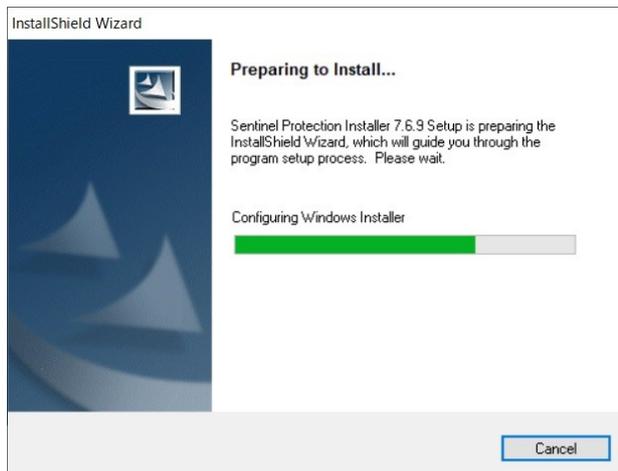


10.「InstallShield ウィザードを完了しました」とメッセージが出ますので、完了(F) をクリックします。

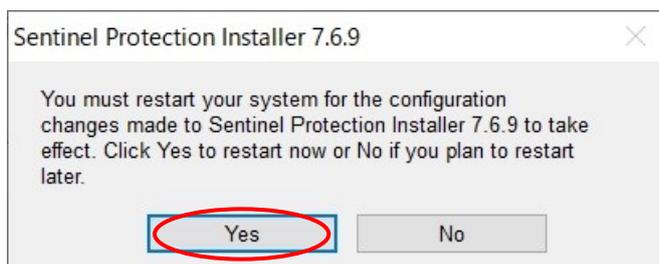


11.続いて、プロテクトドライバーが自動でバージョンアップされます。

※「setup_pg.exe」でインストールした場合はプロテクトドライバーのバージョンアップはありません。



※パソコンの再起動を促す下記メッセージが出た場合は、Yes をクリックして再起動させます。



以上で「3. ef / Bitz / P's 新バージョンのインストール」の作業は終了です。

4. コンバート作業(新バージョンへの変換)

Version11.3x ではマスターや物件の構造が変わったため、旧バージョンのマスターや物件をコンバートする必要があります。

【ご注意！】物件、マスターを共有でご利用の場合

全ての ef / Bitz / P's のバージョンアップが終わってから実行してください。

旧バージョンの ef / Bitz / P's では利用できなくなります。

バージョンアップ直後に ef を立ち上げた場合や、バージョンアップ後に過去の物件を開いた場合に、「データベースの変換」という画面が表示される場合があります。

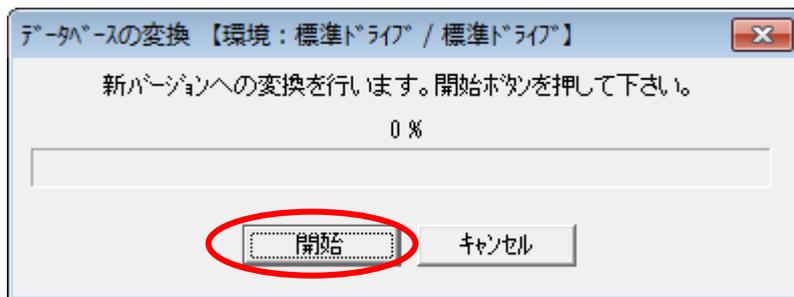
表示された場合は、[開始]ボタンをクリックしてデータベースの変換を実行してください。

1. デスクトップにあるアイコン  [PLANEST ef (Bitz or P's)Version11.3x] をダブルクリックします。

2. 下記のようなデータベース変換画面が開きます。

【開始】ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。

Bitz →  P's → 
と置き換えて下さい。



⚠ 「データベースの変換」画面は、【環境設定】に設定されているタブの数だけ表示されます。
(保存ドライブを除く)

1つの環境での変換が完了したら、次の環境の「データベースの変換」画面が表示されますので、【開始】ボタンをクリックして、変換を実行します。



3. バージョンアップ内容ダイアログが開きます。

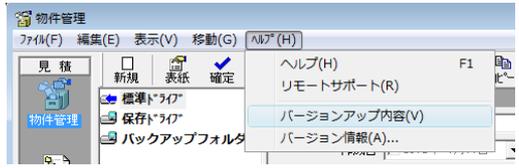
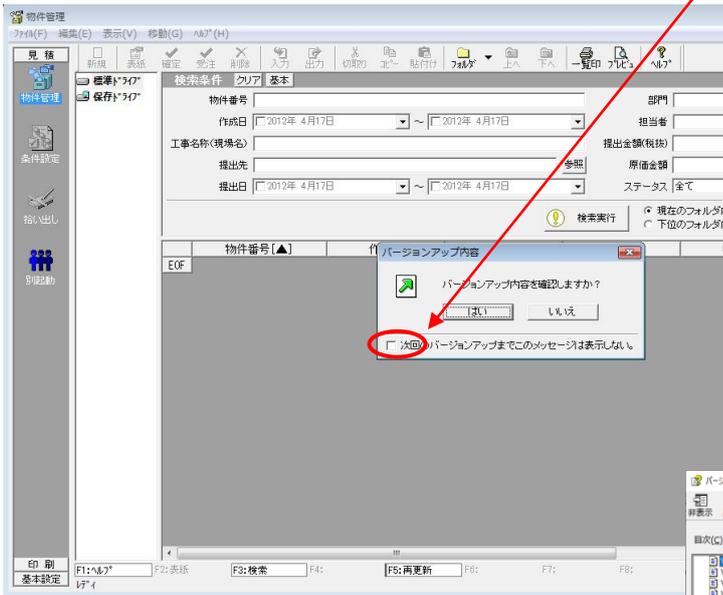
必要に応じてバージョンアップ内容を確認して下さい。

！次回からバージョンアップ内容の画面を表示

させない場合は画面左下のチェックを入れて下さい。

チェックを入れてもバージョンアップ内容は、いつでも確認できます。

ef (Bitz or P's)を起動し、物件管理画面の左上のメニューバー「ヘルプ」をクリックし、メニュー「バージョンアップ内容」をクリックすれば下と同じ画面が開きます。

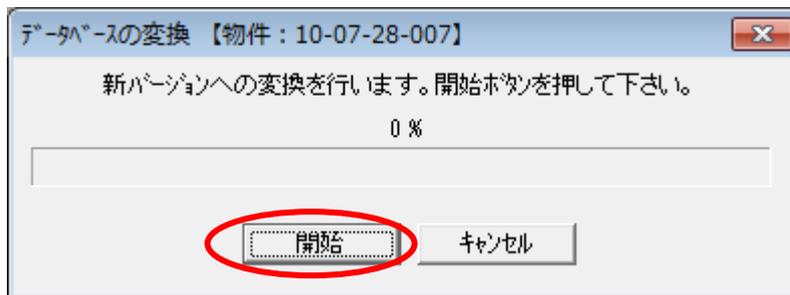


画面左には、これまでのバージョンが表示しています。クリックすると内容を確認できます。

物件を開く時

バージョンアップ後に、物件管理で過去の物件を開こうとした時に、下記のようなデータベースの変換画面が表示されます。

【開始】 ボタンをクリックして、データベースの変換を実行します。



！ 物件は、1物件ずつのコンバート作業になります。全ての物件のコンバート作業を行わなくてもいつでも可能です。旧バージョンの物件を選択すると必ず変換画面が開きます。

以上で ef / Bitz / P's Version11.3x へのバージョンアップが完了しました。

お疲れ様でした。